

前国際会長 アルバート F. ブランデル

アルバート F. ブランデル（米国ニューヨーク州メルビル）は、2008年6月23日～27日にタイのバンコクで開催されたライオンズクラブ国際協会の第91回国際大会で国際会長に選出された。

ブランデル前国際会長は引退した元警察官。長年、子供の虐待や放置、青少年の非行問題、一般の子供や行方不明の子供を巻き込んだ家庭内暴力事件の捜査を手がけた。

前会長は1975年以来のウェスト・ヘムステッド・ライオンズクラブの会員、及びメルビル・ライオンズクラブの準会員であり、クラブ会長、地区ガバナー、国際理事を含む数々の国際協会役職を歴任。米国/カナダ・ライオンズ・リーダーシップ・フォーラムに発表者兼討論者として出席した他、ロングアイランド・ライオンズ・アイバンクでは運搬担当としても従事。ニューヨーク市のユニセフへのライオンズ代表を10年間務め、2001年9月11日直後には、世界貿易センター跡地におけるLCIFによるライオンズ救援活動のコーディネーターに尽くした。

協会への貢献が認められ、前会長はこれまでに100%クラブ会長賞、100%地区ガバナー賞、15回の国際会長賞、さらには協会より会員に与えられる最高栄誉の親善大使賞を含む数々のアワードを受賞。累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンとしての活動に加え、リトルリーグではボランティアとして活躍し、自らが通う教会では聖餐式の司祭も務めた。また前会長は、元米国国連協会理事でもある。

麻酔医でありライオンでもあるモーリーン・マーフィー夫人は地元の病院に勤務している。